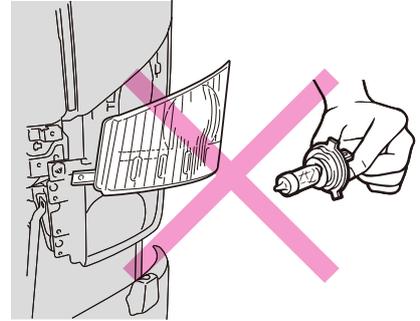


ディスチャージヘッドランプ不調時の注意点とは

不調 発覚

バルブ交換等、お客様自身での修理作業は厳禁！

ディスチャージヘッドランプが点灯しなくなったときは、お客様にて分解、修理等を行なわないでください。ディスチャージヘッドランプは高電圧がかかる部品のため、感電するおそれがあります。むやみに分解、修理すると、感電することがあり、故障の原因にもなり、火災にいたる場合もあります。お客様にて、バルブ交換等の修理作業は一切行なわないでください。



自分で、いっさい修理はしない！

点検 修理

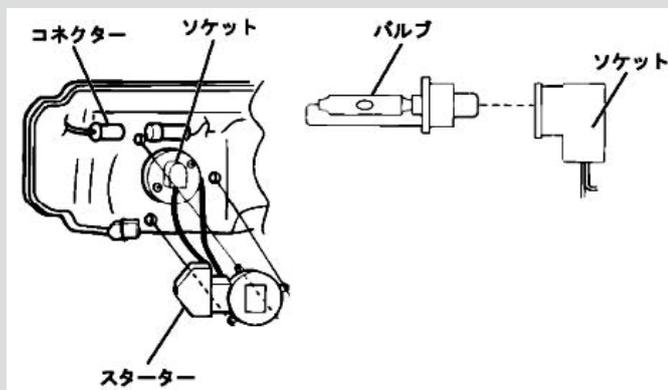
必ず、最寄りのいすゞ販売会社へ

ディスチャージヘッドランプが点灯しなくなった等の不調の際は、お客様にて対応しようとせず、必ず、最寄りのいすゞ販売会社へご用命いただきますようよろしくお願いいたします。



点検修理は、必ず最寄りのいすゞ販売会社で！

火災発生のメカニズム



- ディスチャージヘッドランプは、約 25,000V の高電圧によって点灯させています。
- ヘッドランプ不灯等によりバルブを取り外すと、高電圧を流すためにバルブに接続されているソケットの位置がヘッドランプ本体の中で不安定となります。
- その状態でヘッドランプを点灯させると周辺部品との間に放電が発生し、最悪の場合、感電・火災に至るおそれがあります。
- お客様にて、バルブ交換等の修理作業は一切行なわないでください。